

施設自己評価報告書

令和5年度の職員自身の業務を振り返るため、職種毎に自己評価を行っております。また、施設も同様に施設の自己評価を行い、施設の強み、弱点を把握し施設運営に役立てております。4. 特別支援障がい児保育については、知識不足、経験が不足している事の認識できました。また、14. 家庭（地域）との連携では、保育士個々も含めて施設としても十分ではない評価となりました。

今後、施設、職員個々の資質を向上し、よりよい保育サービスが提供できるよう努めてまいります。

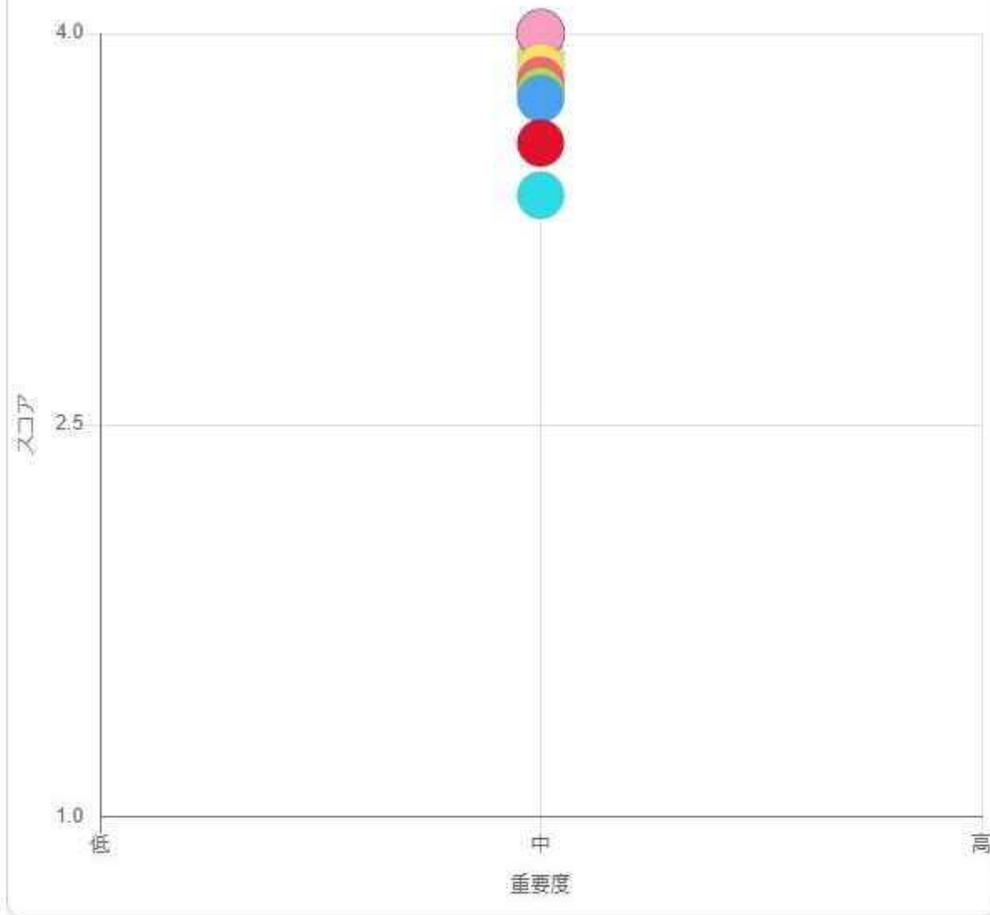
令和6年7月22日

三根みどり保育園

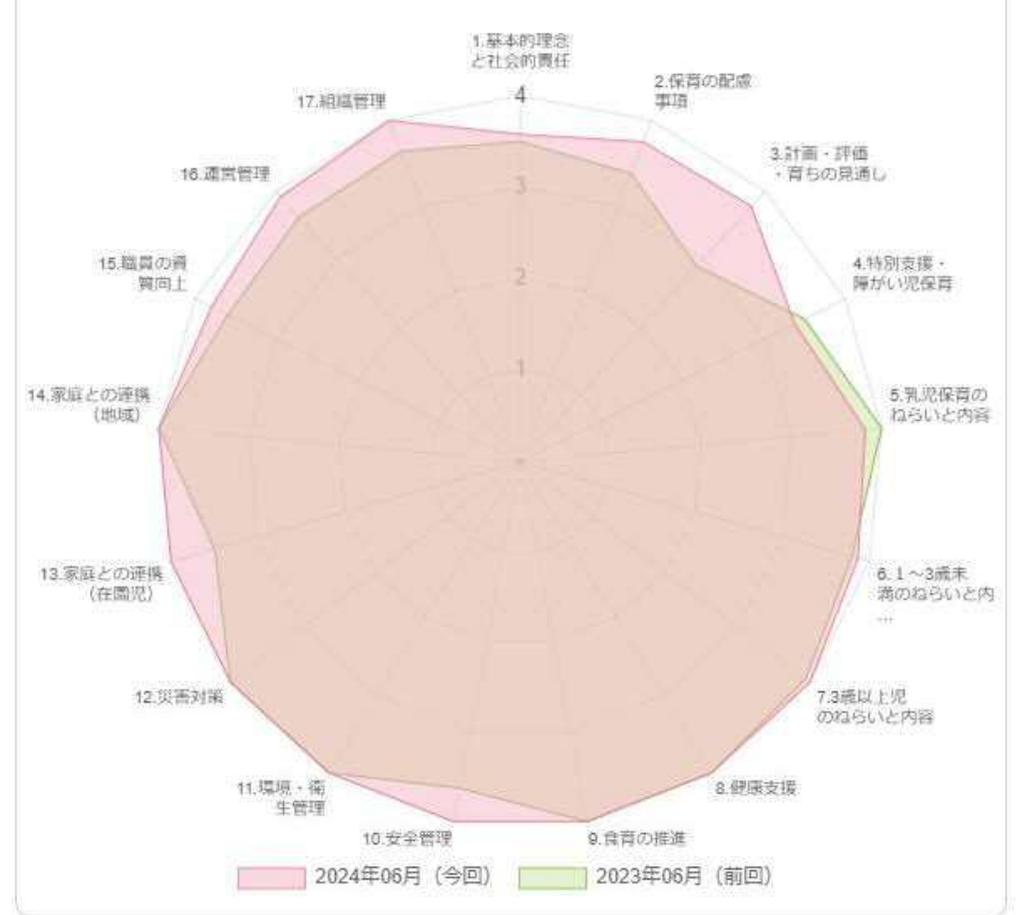
園長 古賀 利郎

スコアレポート

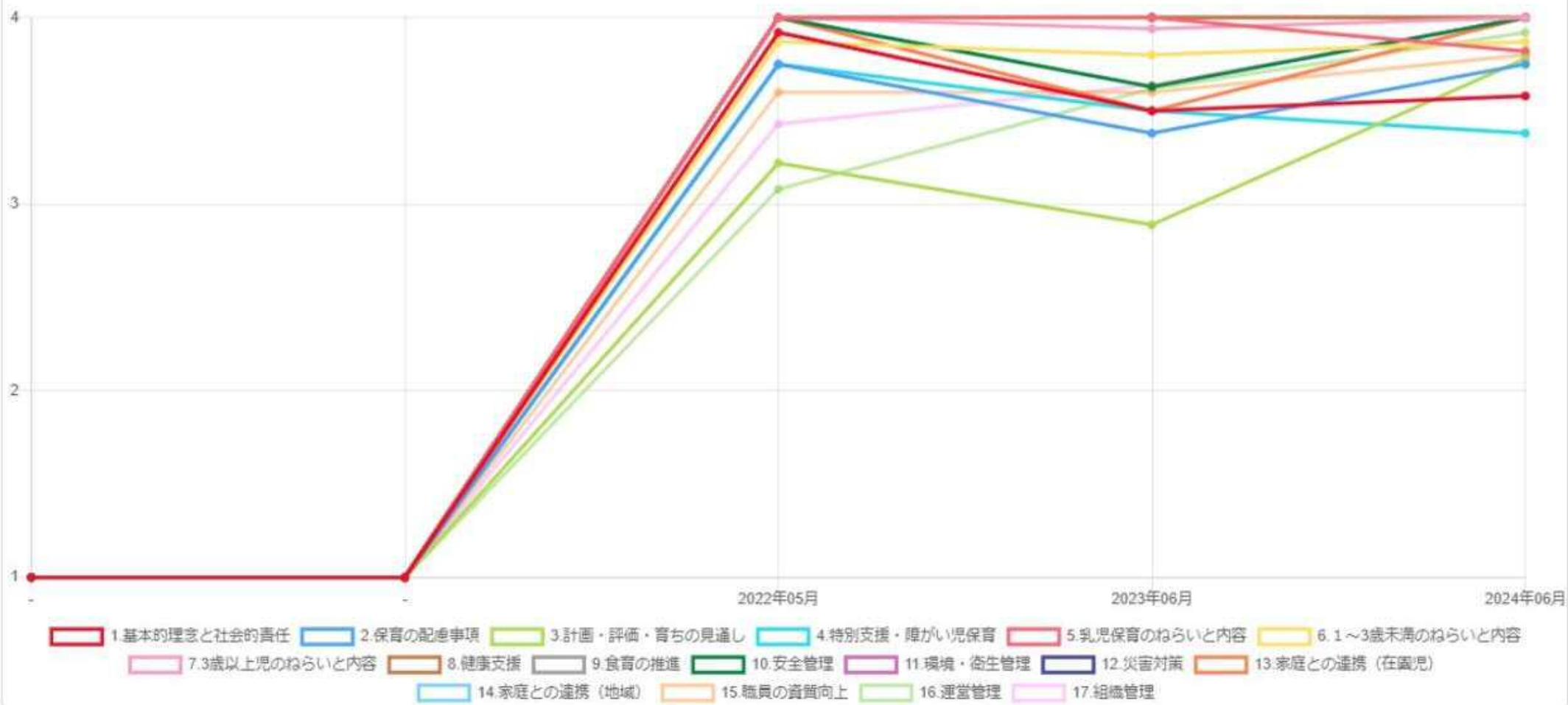
スコアマトリクス (大項目別スコア/重要度)



スコア比較 (大項目別)



スコア推移（大項目別）



まとめ 大項目ごとのスコアランキング

※重点課題になるものを「行動計画反映状況」から入力してください。

ランク	項目	スコア	重要度	行動計画反映状況
1	7.3歳以上児のねらいと内容	4.00	中	表示
2	8.健康支援	4.00	中	表示
3	9.食育の推進	4.00	中	表示
4	10.安全管理	4.00	中	表示
5	11.環境・衛生管理	4.00	中	表示
6	12.災害対策	4.00	中	表示
7	13.家庭との連携（在園児）	4.00	中	表示
8	14.家庭との連携（地域）	4.00	中	表示
9	17.組織管理	4.00	中	表示
10	16.運営管理	3.92	中	表示
11	6.1～3歳未満のねらいと内容	3.87	中	表示
12	5.乳児保育のねらいと内容	3.82	中	表示
13	15.職員の資質向上	3.80	中	表示
14	3.計画・評価・育ちの見通し	3.78	中	表示
15	2.保育の配慮事項	3.75	中	表示
16	1.基本的理念と社会的責任	3.58	中	表示
17	4.特別支援・障がい児保育	3.38	中	表示

項目別スコア (小項目)

大項目選択

1.基本的理念と社会的責任



表示

1.基本的理念と社会的責任

1.子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場になることを日々保育を行っている

2.子どもの人格尊重を意識して日々保育を行っている

3.子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを互いに尊重する心を育てよう日々保育をしている

4.性差への先入観による固定的な観念を植え付けないよう日々保育を行っている

5.子どもの特性や発達の過程に応じ、発達のねらいや方針に即した援助を日々行っている

6.子どもの主体的な活動を促し、意欲を持って遊べるような援助を日々行っている

7.子どもの生活のリズムを大切に、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整えている

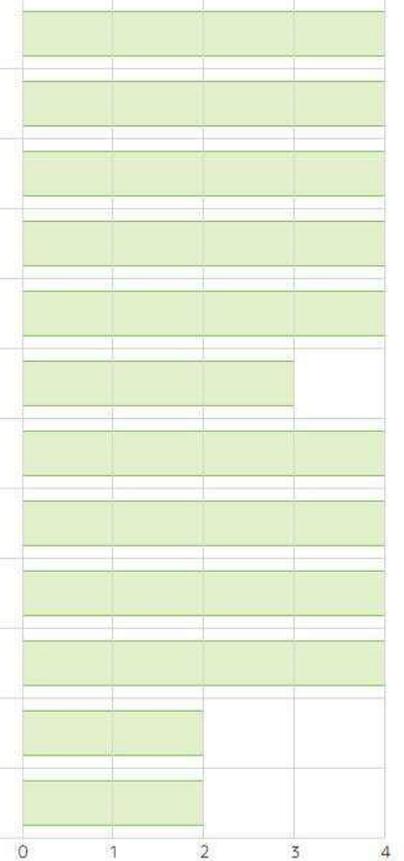
8.個人情報の取り扱い方をマニュアル等により理解し、適切に対応している

9.保護者の苦情に対する対応、対策をマニュアル等により理解し、発生時は適切に対応している

10.「幼児教育を行う施設において育みたい資質、能力」を認知、理解している

11.「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」理解し計画を立て、保育を行っている

12.「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と関の目標・計画の繋がりを理解し、保育を行っている



項目別スコア（小項目）

大項目選択

2.保育の配慮事項



表示

2.保育の配慮事項

1.子どものその時々々の気持ちを受けとめて保育を行うよう日々配慮している

2.登園時に、子どもの発育や発達の状態、体の状態を細かく観察している

3.入園から就学（卒園）までの発達の連続性をイメージ・理解して保育をしている

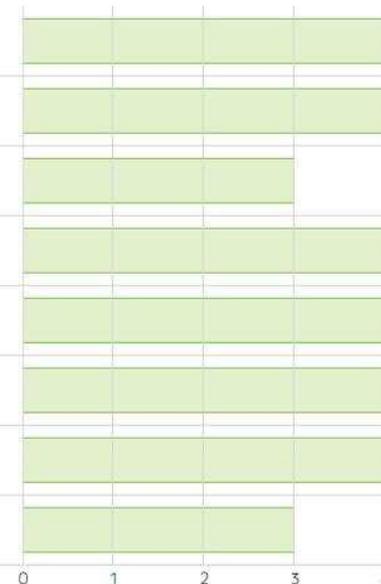
4.園内や保育室など、子どもが安心できる雰囲気を作ることを心掛けて環境を構成している

5.スキンシップや愛着を常に心がけて日々保育を行っている

6.一人一人の子どもの健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができる。

7.一人一人の子どもの思いや意見をはっきり伝えることができるよう配慮し、尊重している

8.子どもに分かりやすい言葉で優しく、穏やかに、目を見て話しかけている



項目別スコア (小項目)

大項目選択 3.計画・評価・育ちの見通し

表示

3.計画・評価・育ちの見通し

1.全体的な計画・教育課程を見直すための会議やディスカッションの場があり、改善を行っている

2.年間指導計画により、長期的な見通しをもち、職員で共有し、日々保育を行っている

3.日常の保育を通して、子どもの思いや気持ちを汲み取り指導計画や自己評価に反映させている。

4.保育目標やねらいをベースに、各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている

5.日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して、年案、月案、週日案を作成している

6.子どもの実感や状況の変化に応じて、保育の振り返り、見直し改善を行っている

7.1日の生活リズムや在園時間および期間が異なる子どもが共に過ごすことを前提とした計画になっている。

8.対話や文章化による振り返りや評価により定期的な保育の改善がされている

9.チェックリストによる自己評価を実施し、長所や課題を発見し、改善に努めている

0 1 2 3 4

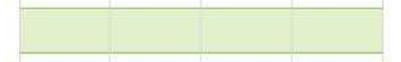
項目別スコア（小項目）

大項目選択 4.特別支援・障がい児保育

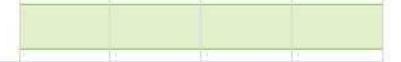
表示

4.特別支援・障がい児保育

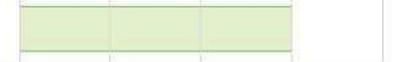
1.特別支援・障がい児保育について、園全体で話し合う、情報共有する場がある



2.障者のある子どもの子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立案している



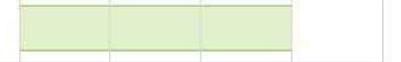
3.特別支援の担当は、園内外問わず、研修等を通じてそれら保育に必要な知識を得ている



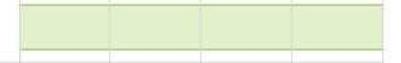
4.特別支援のために環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がきている



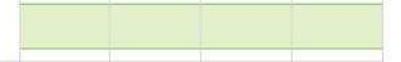
5.医療機関や療育機関などから相談や助言を必要に応じて受けている



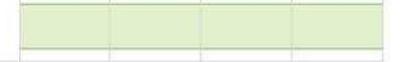
6.障がいのある子どもの保護者と話す場を定期的に設け、信頼関係の構築に努めている



7.障がいのある子どもの保護者に適切な情報を伝えるための取り組みを行っている



8.障がいのある子どもの保護者に就学など将来の方向についての情報提供や相談に応じている



項目別スコア（小項目）

大項目選択 5.乳児保育のねらいと内容

表示

5.乳児保育のねらいと内容

1.発育に応じた行動（立つ、歩くなど）を自発的に行う意欲や経験をさせている

2.微笑みながら、子どもの欲求を尊重して授乳をしている

3.離乳食は、保護者、栄養士（調理員含む）と密に連携をとり、子どもの状況に配慮して提供している

4.一人一人の生活リズムに合わせて、睡眠をとることができるように静かな空間が確保されている

5.特定の保育士との継続的な関わりが保てるよう配慮している

6.午睡中はセンサーの使用問わず、体を仰向けにすることを認識し、体温、顔色、呼吸のチェックをしている

7.オムツの交換のサインを見逃さず受け止め、替えた清潔感を伝えるようにしている

8.生活や遊びの中で、音・形・色・手触りなどに気づかせてさまざまなものに触れさせている

9.上体を支え足の動きを促すなど、遊びを通して身体発達の援助を行っている

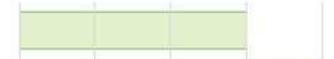
10.発声や喃語等を優しく受け止め応えることで、言葉の理解や発語の意欲を育てている

11.進級などで保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応している

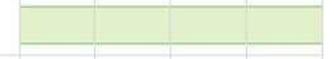
	0	1	2	3	4
1.発育に応じた行動（立つ、歩くなど）を自発的に行う意欲や経験をさせている	1	1	1	1	1
2.微笑みながら、子どもの欲求を尊重して授乳をしている	1	1	1	1	1
3.離乳食は、保護者、栄養士（調理員含む）と密に連携をとり、子どもの状況に配慮して提供している	1	1	1	1	1
4.一人一人の生活リズムに合わせて、睡眠をとることができるように静かな空間が確保されている	1	1	1	1	1
5.特定の保育士との継続的な関わりが保てるよう配慮している	1	1	1	1	1
6.午睡中はセンサーの使用問わず、体を仰向けにすることを認識し、体温、顔色、呼吸のチェックをしている	1	1	1	1	1
7.オムツの交換のサインを見逃さず受け止め、替えた清潔感を伝えるようにしている	1	1	1	1	1
8.生活や遊びの中で、音・形・色・手触りなどに気づかせてさまざまなものに触れさせている	1	1	1	1	1
9.上体を支え足の動きを促すなど、遊びを通して身体発達の援助を行っている	1	1	1	1	1
10.発声や喃語等を優しく受け止め応えることで、言葉の理解や発語の意欲を育てている	1	1	1	1	1
11.進級などで保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応している	1	1	1	1	1

6.1～3歳未満のねらいと内容

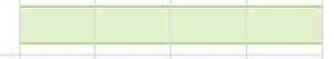
1.生活リズムについては、一人一人の子どもの状態に合わせて対応している



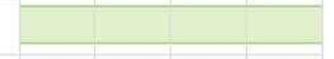
2.走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを取り入れている



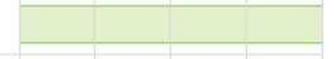
3.楽しい雰囲気の中で自分で食べようとする主体的な気持ちを尊重している



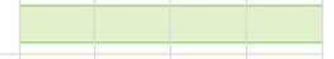
4.子どもが自分で衣服を着脱しようとする主体的な気持ちを尊重している



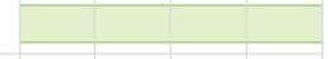
5.一人一人の排便状況に応じた配慮をしている



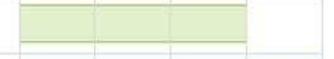
6.他の子どもとの関わり方や集団生活を発達に応じて身につけられるよう日々保育をしている



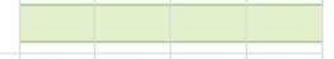
7.自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりする経験を重ねているよう援助している



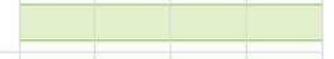
8.玩具や遊具は安全で、子どもの興味や発達に合った物を選び使用させている



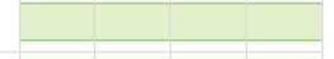
9.公園や園庭など、積極的に戸外遊びを取り入れて身体を発達を促している



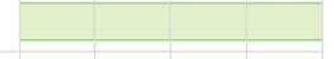
10.見る、聞く、触れるなど感覚の働きを豊かにするために機会を提供している



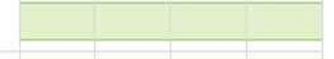
11.絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている



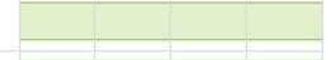
12.自然（水、砂、土、木々など）や紙、粘土などさまざまな素材に触れて楽しませている



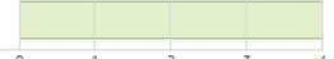
13.音楽、リズムなどに親しみ、歌や手遊び、全身を使う遊びを取り入れている



14.体の状態、機嫌、食欲など日常の状態を観察を十分行うことで感染症を予防している



15.通勤などで保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応している



0 1 2 3 4

8. 健康支援

1. 感染症に対する園の方針やマニュアルのポイントを理解し、行動している

2. 感染症発生時に、発生状況や感染予防策についてお知らせやお便りで保護者に通知している

3. 不適切な養育の兆候や虐待が疑われる場合には、関係機関と連携、相談している

4. 健康診断と歯科検診の結果について、保護者や職員に速やかに伝達している

5. 子どもの健康情報を共有し、既往症（アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息など）について、すべての職員に周知している

6. 子どもの出生時から入園までの発育・発達状況を十分に把握している

7. 食物アレルギー児への対応として、調理室内で原因食材の混入が起らないようルールを設定し、全員で共有している

8. 食物アレルギー児への対応として、誤食が起きないように職員同士の話し合い、チェックリストなどを作成している

9. 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解し、適切な処置をしている

10. 包帯や応急処置用品の使用法を理解し、適切な処置をしている

0 1 2 3 4

9.食育の推進

1.全体的な計画に基づき、食事の提供を含む食育計画が提供されている

2.子どもが意欲的に食に関する体験ができるよう、具体的な食育計画を保育の指導計画に反映している

3.乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、給食について見直しや改善をしている

4.乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えている

5.展示食、ブログ、給食だよりなどによって、年齢に適した食材の量や形状を保護者に知らせている

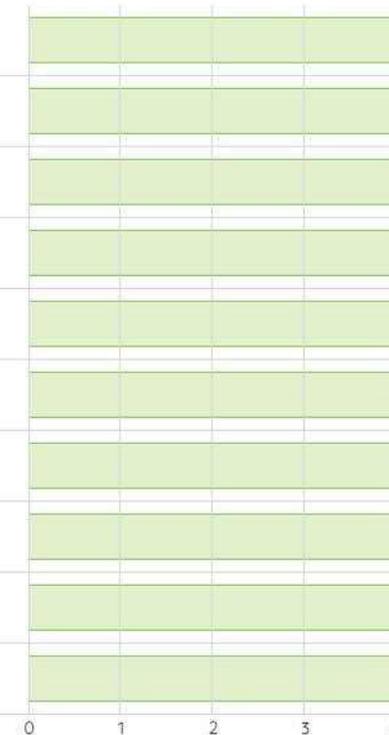
6.調理員、栄養士、保護者と連携し、この食物アレルギーなどの情報共有を定期的に行っている

7.子どもが栽培、収穫したものや調理したものを食べる機会をつくるように心がけている

8.食育の活動内容や考え方について、評価や改善を行っている

9.園での食育活動をお便りや連絡帳などを活用して保護者に周知している

10.自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めている



11.環境・衛生管理

1.園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地良く過ごせるよう十分な対応が出来ている。

2.園内に子どもたちが季節感を味わえるような掲示や飾りつけの工夫をしている。

3.子どもが活動しやすい様に保育室の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している。

4.一人一人の子どもの服装、頭髮、爪などを定期的にチェックしている。

5.国の新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを確認している。

6.新型コロナウイルス感染対策に関する園のガイドラインを設け、十分に理解、共有している。

	0	1	2	3	4
1.園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地良く過ごせるよう十分な対応が出来ている。					
2.園内に子どもたちが季節感を味わえるような掲示や飾りつけの工夫をしている。					
3.子どもが活動しやすい様に保育室の温度、湿度、換気、採光などを適宜調整している。					
4.一人一人の子どもの服装、頭髮、爪などを定期的にチェックしている。					
5.国の新型コロナウイルス感染対策ガイドラインを確認している。					
6.新型コロナウイルス感染対策に関する園のガイドラインを設け、十分に理解、共有している。					

12.災害対策

1.災害に対する園の方針などを十分に理解している

2.災害対応マニュアルを用意し、読み込み、十分に理解している

3.消火器、火災受信機、配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている

4.園の立地や地域に応じたさまざまな災害を想定した避難訓練を行っている

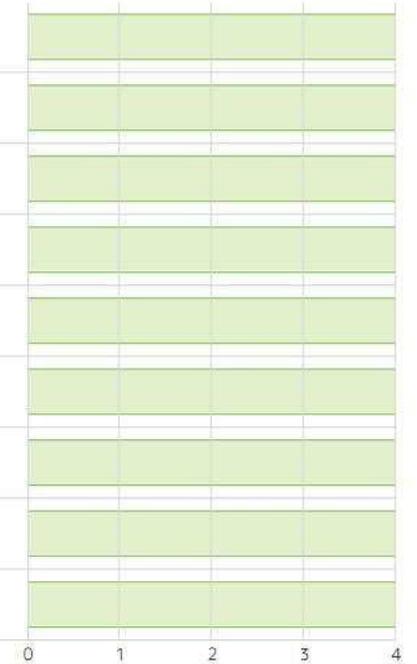
5.保護者との連絡体制や引渡し方法のルールが明確で、それらを十分に理解している

6.地域や地域の関係機関と連携を図り、協力が得られるように努めている

7.その地域で起こった災害の種類や程度及びその後の状態を知っている

8.ハザードマップを把握している

9.地震や豪雨の際の園から避難場所への避難経路を把握している



13.家庭との連携（在園児）

1.保育士は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている

2.保護者が、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心掛け、対応している

3.送迎の際の対話や連絡帳への記載等の日常に加え、個別面談や別機会を設けている

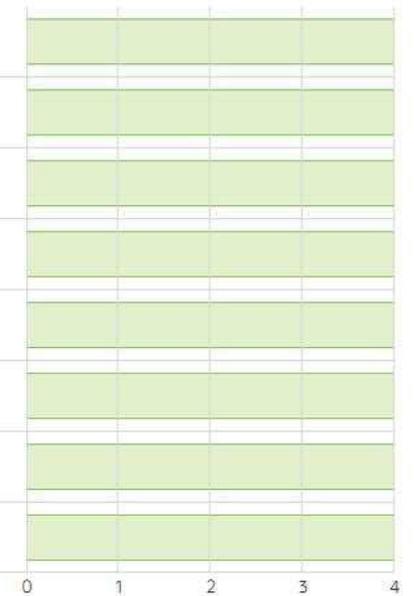
4.家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されている

5.園だより、クラスだより、給食だより、保健だよりなどを、定期的（月1回程度）に発行している

6.あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている

7.利用者満足の向上を目的とする仕組み（保護者評価、アンケートなど）を整備し、取組を行っている

8.虐待の疑いのある子どもの保護者への対応について児童相談所等の関係機関に紹介、通告する体制が整っている。



14. 家庭との連携（地域）

1. 関係者評価や自治体など、地域の子どもについての保育ニーズを把握している

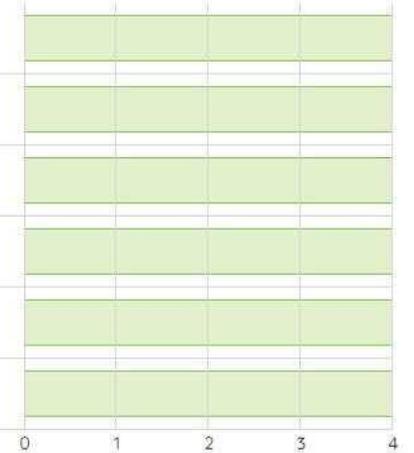
2. 保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼びかけるなど、地域交流できる機会を確保している

3. 一時預かりや親子教室など、地域での子育て支援を実施し、地域への貢献を図っている

4. 地域住民から受けた子育て相談の内容について連絡、相談する外部の関係機関を把握している

5. 子どもの医療や保健に関する問題について、連絡、相談する外部の関係機関を把握している

6. 地域社会との交流や地域への発信を行い、園での取り組み内容を周知している



15.職員の資質向上

1.園内で行われる研修や会議に積極的に参加し、資質向上を図っている。	4
2.園外で行われる研修に自発的に参加し、速やかに研修報告を行っている	4
3.個人の自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる	4
4.自己評価に基づいて研修計画が改善され、園内外問わず研修受講が出来ている	4
5.定期的に保育に関する専門書や関係書を読むなど、保育知識を習得するよう努めている	3
6.自身の保育について、園長や主任など自身の上司から意見や指導があった場合に、謙虚に学ぶ姿勢を持っている	4
7.自身の保育実践について、自ら上司や同僚のアドバイスをもらうよう努め、成長しようとしている	4
8.園で決定した方針が自身の意見と違うときに、直接その理由を問いたり、広い視野を持って前向きに考えるようにしている	3
9.保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解している。	4
10.申し送りや情報共有など、非常勤職員と連携を取るための取り組みがなされている。	4

0 1 2 3 4

I6.運営管理

1.個人情報の保護に配慮した保育所の運営を行っている	4	4	4	4	4
2.保育の質を高めるための話し合いの場が十分に提供されている	4	4	4	4	4
3.保育所にある各種マニュアルについて、検証・見直しを行っている	4	4	4	4	4
4.保護者のニーズをくみ取り、運営に活かす仕組みが出来ている	4	4	4	4	4
5.園経営をとりまく外部環境（保育需要や近隣園との優位性）と経営状況が的確に把握・分析されている。	4	4	4	4	4
6.経営課題を明確にし、重点施策として具体的な取り組みを行っている	4	4	4	3	4
7.中・長期的なビジョンを明確にした中期事業計画に基づき、単年度の事業計画の策定、職員への共有がされている	4	4	4	4	4
8.事業計画の実施状況の把握や評価・見直しが定期的に組織全体で行われ、職員が理解・把握している	4	4	4	4	4
9.事業計画に基づいて重点施策が設定され、それに基づいて指導計画や研修計画が立てられている	4	4	4	4	4
10.事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している	4	4	4	4	4
11.園全体としての自己評価を行い、共有し、全職員の共通理解のもと改善に努めている	4	4	4	4	4
12.自己評価結果にもとづき園として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している	4	4	4	4	4
13.遵守すべき法令や制度変更、社内ルール等を正しく理解するための研修等の取組を行っている	4	4	4	4	4
	0	1	2	3	4